

8 . 普及事業

8.1 成果発表会

日頃の研究の成果を企業および都民に普及を図るため、研究成果の発表会を開催した。

開催月日 平成14年9月30日
 会場 都民ホール（東京都議会議事堂1階）
 参加者 64名

発表概要

誰でも簡単にデザインできるプリントシステムの開発
北原 浩（アパレル技術グループ）
カレイドスコープ（万華鏡）を応用した、誰でも簡単にデザインできるプリントシステムを開発した。模様の基になる対象物を変えることによってデザイン制作に無限の可能性がある。また、テキストイルデザインを含め、幅広いデザイン分野に応用できる。
紫外線照射法による排水中の窒素成分の処理
小坂幸夫（資源環境技術グループ）
金属工業排水中の硝酸性窒素・亜硝酸性窒素の処理を目的に、排水に紫外線を照射して硝酸イオンを亜硝酸にオンに還元させ、さらに薬剤を添加して亜硝酸イオンを窒素に分解する方法を検討した。
使いやすい福祉機器操作具の設計支援
三好 泉（製品科学技術グループ）
当所では、福祉機器に関する様々な技術支援・研究開発に取り組んでいる。ここでは、操作具のインターフェース研究の一部を紹介する。
組み込みシステム開発技術者育成向け教材の開発
森 久直（情報システム技術グループ）
私たちは普段から様々なものに組み込まれたコンピュータを意識することなく、その恩恵を受けている。今後も高まるマイコン需要に対し、機器の開発現場では人材不足に陥っている。このためマイコン組み込み機器を開発する技術者用の育成に適した教材を開発した。
好きな走行モードが選べる電動アシスト自転車
三上和正（電子技術グループ）
企業と共同開発を行って、電動自転車用モータ駆動システム、ソフトウェアの設計・試作をした。その滑らかさや快適性などを考慮した制御方式を検討し、7つの走行モードを開発した。さらに、新たな始動電流供給システムを搭載した。
産技研の試験及び指導事業の現状と活用方法
中野健一（技術評価室）
最近の製品開発には複合、融合技術等多様な技術と高度な技術課題の解決が要求される場合が多くなってきた。当所では、都内の中小企業に対して、多角的な事業により技術面から支援している。直接企業に役立つ指導、試験事業の利用の現状と活用方法について紹介する。

8.2 研究発表会

前年度までに得られた試験、研究、調査等の成果を発表し、これらの成果の普及を図るため、3庁舎（西が丘、墨田、八王子）に分けて研究発表会を開催し、併せて、要旨集を発行した。

開催月日	会場名	発表テーマ数	来聴者数
平成14年10月30日(水)	西が丘庁舎 第1～4教室	44	49名
平成14年10月31日(木)	墨田庁舎 実習室	8	59名
平成14年11月14日(木)	八王子庁舎 大会議室	7	39名

平成14年10月30日(水) 西が丘庁舎
材料/表面/放射線応用

	題 目	発 表 者 (印は講演者、[]は技術グループ名)
1	リサイクルしやすい着色ガラスの作製	陸井史子(企画普及課)、上部隆男[材料]
2	同位体希釈法による貴金属合金の高精度高確度主成分分析	上本道久[材料]
3	統計的手法を用いた鉄鋼中の介在物の定量法	佐々木幸夫[材料]、小山元子[精密分析]
4	フェロセン誘導体の光吸収特性	上野博志・金子真理奈[材料]
5	ポリプロピレン射出成形品の落錘衝撃強さ	清水研一・阿部 聡・山本 真[材料]
6	湿式法によるマグネシウム素材の表面処理方法の検討	水元和成[表面]、田中慎一(都多摩振興センター)、土井正・青沼昌幸[表面]、茅島正資(都城南振興センター)
7	レーザー溶射法によるFe ₂ Wの形成	一色洋二[表面]
8	鉄系焼結金属を鉄心に利用した直流モータの開発	浅見淳一[表面]、小坂修司(特殊電装㈱)
9	Ni-Pめっき合金めっき膜の微細構造と磁性	伊藤 清(都城南振興センター)、王 峰・渡辺 徹(東京都立大大学院)
10	高比重ゴムを用いた放射線遮へい材の開発	鈴木隆司・山田隆博[放射線応用]、中込雅晴・荒井慎二・中込佑介(㈱フジックス)
11	過酸化水素とガンマ線照射による殺菌処理の検討	関口正之・細淵和成[放射線応用]

平成14年10月30日(水) 西が丘庁舎
技術評価室/精密加工/情報システム

	題 目	発 表 者 (印は講演者、[]は技術グループ名)
1	アルミタッピンねじの耐疲労性及び締付け特性の評価	舟山義弘・増子知樹(技術評価室)、田中貴浩(都城東振興センター)、高橋 護(㈱ナテック)
2	放電プラズマ焼結材の切削工具への適用と評価	西岡孝夫・中条知和[精密加工]、鈴木節男(企画普及課)、前野智和[製品科学]、斉田隆利・鶴田正雄・工藤治彦・大西隆雄(㈱イズミテック)
3	三宅島火山灰を主原料とした水プラズマ溶射法による構造材の開発	基 昭夫・片岡征二[精密加工]、佐々木武三(都多摩振興センター)
4	ダイヤモンドライクカーボン膜の密着性向上	基 昭夫・片岡征二[精密加工]、森河和雄[表面]、長谷川徳慶・加藤光吉[計測応用]、佐々木武三(都多摩振興センター)
5	マイクロ放電加工法によるテーパ軸穴同時加工	山崎 実・森 紀年・鈴木岳美[精密加工]、國枝正典(東京農工大)
6	三次元座標測定機の性能診断装置の開発	樋田靖広・浜島義明・佐藤公一・中条知和[精密加工]、澤近洋史(企画普及課)
7	インテリジェント信号機の開発	榎本博志(都城東振興センター)、北原 枢・佐藤正利[情報システム]、新井英喜(企画普及課)、宮島良一[電子]、宮田勝雄[情報システム]
8	任意に構成可能なリアルタイムシステムの開発	佐藤正利・森 久直・坂巻佳壽美[情報システム]
9	高度情報化人材育成用ASICマイコン教材の開発	森 久直・坂巻佳壽美・佐藤正利[情報システム]、村越英樹(都立科学技術大)、宇賀神孝・村山彰一・波多野八州夫・山本大介(アンドールシステムサポート㈱)
10	交流用LED点灯回路を使用した面発光表示灯の開発	大畑敏美・北原 枢[情報システム]、宮島良一[電子]、山本哲雄[計測応用]、根岸靖博・福原 治(㈱坂詰製作所)
11	コンピュータウィルスの傾向と試験研究機関等共同利用電算システムにおける対策	北原 枢・土屋敏夫・能條自大・大畑敏美[情報システム]

平成14年10月30日(水) 西が丘庁舎
電子/計測応用/電気応用

	題 目	発 表 者 (印は講演者、[]は技術グループ名)
1	平板状開口部材の電磁シールド評価	寺井幸雄・天早隆志・清水康弘・臼井万寿雄[電子]
2	厚膜フォトレジストを用いた微細構造の形成	加沢エリト・上野武司[電子]、篠田 勉(都城東振興センター)
3	機能設定可能なキー入力装置の開発	平塚尚一・三上和正・小林丈士[電子]
4	プリズム方式昼光利用窓装置による照明電力削減効果	岩永敏秀・實川徹則・山本哲雄[計測応用]
5	サンドイッチ型制振ボードによるGL工法壁の遮音欠損改善	牧野晃浩・高田省一[計測応用]
6	低周波吸音体の吸音特性の解析	神田浩一・平間麻子・横田裕史・牧野晃浩・長谷川徳慶・高田省一・加藤光吉[計測応用]
7	材料の制振効果測定のための吊り下げ支持方法の解析	高田省一[計測応用]
8	簡易電動機制御による電動台車の開発	山口 勇・山本克美・重松宏志[電気応用]、田原輝久(新潟県企業局)、清水秀紀(都城南振興センター)、星野美土里(都多摩振興センター)、菅原廣彦(株菅原護謨工業所)
9	医用安全規格に適合する漏れ電流測定器の開発	岡野 宏・河村 洋[電気応用]、富樫昌之・高柳政晴(エクセル株)
10	高齢者用歩行補助車ブレーキシステムの開発	栗原秀樹・山本克美・山口 勇・河村 洋・殿谷保雄・岡野 宏・重松宏志・金岡 威[電気応用]、榎本博司(都城東振興センター)、永井明良(技術評価室)、田原輝久(新潟県企業局)
11	ジョイスティック操作における筋電位測定とそのデータ処理法	河村 洋・岡野 宏[電気応用]、三好 泉[製品科学]

平成14年10月30日(水) 西が丘庁舎
製品科学/資源環境/精密分析

	題 目	発 表 者 (印は講演者、[]は技術グループ名)
1	表面筋電位による前腕動作の評価	大久保富彦・田邊友久・三好 泉[製品科学]
2	曲げ振動を受ける棒の基礎方程式の導出	松田 哲・小金井雅彦・園田 卓[製品科学]
3	筋電位測定による操作具形状の評価	三好 泉[製品科学]、河村 洋・岡野 宏[電気応用]、大久保富彦・田邊友久[製品科学]
4	スプレー塗装における環境負荷低減の検討	木下稔夫[製品科学]、鈴木雅洋(商工部創業支援課)、篠田高一(東京工業塗装協同組合)
5	都市廃棄物を利用した建材用結晶化ガラスの開発	小山秀美[資源環境]、田中 実・大久保一宏・鈴木 蕃[材料]
6	紫外線・薬剤添加法による排水中の硝酸性・亜硝酸性窒素の処理	小坂幸夫・永嶋 茂・長谷川明良・東 邦彦[資源環境]
7	イソシアネート添加したユリア樹脂の硬化機構と接着耐久性	瓦田研介・飯田孝彦[資源環境]、近江正陽・富永洋司・福田清春(東京農工大)
8	無機系抗菌剤の塗料における効果特性	茨田正孝・宮崎 巖・横澤佑治[資源環境]
9	有機塩素化合物の脱塩素反応におけるアルコール溶媒効果	中川清子[精密分析]
10	ナノイメージングのための新しい顕微鏡の開発	金城康人・小山元子[精密分析]、渡部 真(日本メンデル協会)、大道博行・柳瀬悦也(原研光子量子研)、藤井貞夫・佐藤栄治(川崎重工業株)、伊藤 敦(東海大)、篠原邦夫(東大)
11	アズキ上胚軸不定根形成における微量元素の挙動	小山元子・谷崎良之[精密分析]

平成14年10月31日(木) 墨田庁舎
 繊維製品評価/ニット/アパレル

	題 目	発 表 者 (印は講演者、[]は技術グループ名)
1	布地の表面が皮膚に及ぼすチクチク感用評価試料の作製	堀江 暁・大泉幸乃・山本真理子(墨田分室)
2	電磁波シールド素材のアパレル製品への応用技術	吉野 学[ニット]、山口美佐子[アパレル]、松澤咲佳・池上夏樹[ニット]、天早隆志・臼井万寿雄[電子]
3	繊維製品の防かび処理 寝具用繊維製品の防かび処理	中村 宏・小柴多佳子[ニット]、小林かほる(八王子分室)、宮崎 巖・茨田正孝[資源環境]
4	繊維製品の防かび処理 インテリア用繊維製品の防かび加工と性能評価	小柴多佳子[ニット]、小林かほる(八王子分室)、中村 宏[ニット]、宮崎 巖[資源環境]
5	カレイドスコープを応用したテキスタイルデザインの開発	北原 浩・嶋 明・神宮寺勝紀・阿保友二郎[アパレル]
6	エンブroidアリーレースのジャパノクオリティデザイン開発	神宮寺勝紀・北原 浩・嶋 明・阿保友二郎[アパレル]
7	2003年ファッション動向	嶋 明・北原 浩・神宮寺勝紀・阿保友二郎[アパレル]
8	錯視柄を応用したSサイズ女性服の開発	秋田 実[アパレル]、秋山 正(企画普及課)、小高久丹子・大橋健一[アパレル]

平成14年11月14日(木) 八王子庁舎
 繊維評価/テキスタイル

	題 目	発 表 者 (印は講演者、[]は技術グループ名)
1	摩耗強さ試験のばらつき低減化	川原井通義・田中みどり・番場ろく(八王子分室)
2	染色物の移染性評価法	池田善光[テキスタイル]、吉田弥生[ニット]、長野龍洋・福島富子(八王子分室)
3	酵素によるセルロース系繊維製品の特殊加工	小林研吾(墨田分室)・木村千明(八王子分室)
4	コンピュータグラフィックスによる先染織物の色彩効果	小林洋子・川崎 顕・窪田 宏[テキスタイル]
5	ノンリピート文様を応用した新規服地の開発	宮本 香・原 秀樹[テキスタイル]、片桐正博[ニット]、原島勝子[テキスタイル]
6	再生ポリエステル繊維の表面処理効果	榎本一郎[テキスタイル]、吉田英敏[前テキスタイル]、栗田征彦[テキスタイル]、古田博一[ニット]、伊藤 寿(都多摩振興センター)
7	回収PETボトルによる複合繊維	山本清志・原島勝子[テキスタイル]、片桐正博・古田博一[ニット]、関口敏昭(墨田分室)

8.3 施設公開

科学技術週間中に当所の主要施設，設備を中小企業及び一般都民に公開し、各種事業の理解を得るとともに、産業技術の普及を図った。

施設公開のキャッチフレーズを次のとおり設定し、施設公開の普及に努めた。

「みてふれて 体験しよう 科学の不思議」

入場者数は全庁舎合計3,521名（西が丘庁舎947名、駒沢庁舎412名、墨田庁舎360名、八王子庁舎1,802名）であった。

1 公開日

西が丘庁舎	平成14年4月19日(金)、20日(土)
駒沢庁舎	平成14年4月12日(金)、13日(土)
墨田庁舎	平成14年4月16日(火)、17日(水)
八王子庁舎	平成14年4月17日(火)、18日(水)

2 公開内容

1) 西が丘庁舎

記念講演（本館2階講堂）

4月19日(金)

専修大学商学部教授 黒瀬 直宏 氏

「町工場の活路」

三宅島火山灰利用技術の紹介（本館2階ロビー）

三宅ガラス、溶射製品、染色・プリント応用等

共同開発研究、他庁舎の事業紹介（本館2階講堂控室）

当所共同開発研究の紹介

駒沢・墨田・八王子の当所各庁舎の紹介

産業労働行政・技術専門校コーナー（本館1階ものづくりネットワーク促進室）

産業労働局の商工行政や技術専門校の案内

三宅島復興・伊豆諸島支援島嶼特産品販売コーナー（本館1階玄関前）

三宅島・伊豆諸島島嶼特産品展示・即売

苗木の配布（本館1階玄関前）

さつき、つつじ、ブルーベリー等の配布（各日150本）

実験室，公開室の公開 合計36室

体験教室

パソコン教室（EXCEL入門）、IC工作教室（電子オルゴールの製作）、三宅島火山灰利用体験（ガラスエッチング、コースターのプリント）、UVアート他

2) 駒沢庁舎

記念講演（講堂）

4月13日(土)

日本原子力研究所高崎研究所照射利用開発室長 須郷 高信 氏

「放射線を利用した生活福祉・環境浄化事業の創出」

所内一般公開

1号館 ロビー，講堂，1階廊下

2号館 実験室2室，廊下

3号館 コバルト照射室，電子線照射室，イオン加速器室

4号館 環境放射能測定室，相談室

体験・実演

ガラスエッチング（三宅ガラスに絵を描こう！）、火山灰プリント（三宅島火山灰でプリントしよう！）、UVアート

他庁舎紹介展示

三宅島火山灰利用技術、繊維技術他

3) 墨田庁舎

ポスターセッション等(実習室)

研究成果紹介パネルの掲示説明、他庁舎研究紹介

三宅ガラス・三宅島プリントの紹介

体験コーナー(実習室)

熱転写プリント

所内一般公開

墨田分室

: 引張強さ試験・摩耗試験機の実演、繊維製品クレーム品展示説明、
繊維の顕微鏡観察実演、染色堅ろう度説明

アパレル技術グループ

: ダイレクトプリンタ・型紙システム・スポンジング機の実演、
素材データベースの説明、流行情報・テキスタイル柄の説明

ニット技術グループ

: 非接触三次元計測装置説明、サーマルマネキン・サーモグラフィの実演、
丸編機・横編機の実演、リンク機・靴下編機・手袋編機の説明、
走査型電子顕微鏡の説明、浸染及びプリントの説明

印刷物の配布 A D I、テクノ東京21

4) 八王子庁舎

研究成果パネルの掲示説明、

体験コーナー

熱転写プリントの体験(仕上加工試験工場)

所内一般公開

デザイン企画室

: デザイン作成コンピュータ実演、ファッションショー衛星放送放映

織物試験工場

: 各種織機の実演・展示

撚糸試験工場

: 各種撚糸機の実演・展示、組み紐配布

ニット試験工場

: 各種編み機の実演・展示

捺染試験工場

: インクジェットプリントシステムの実演・展示、三宅島火山灰プリントの実演

浸染試験工場

: 各種浸染機器の実演・展示

素材評価試験室

: 繊維の鑑別、染色堅ろう度試験の紹介、

応用技術試験工場

: 繊維のリサイクル技術、不織布製造機器の実演

中階段おどり場: クレーム事例パネルの掲示、説明

印刷物の展示配布 A D I、テクノ東京21、和也

8.4 施設見学

企業・業界団体、都・区の関係部署及び一般都民等からの要望に応じて、団体見学を随時実施し、当所のPRを積極的に行った。

平成14年度の実績は次のとおりであった。(施設公開を除く)

	西が丘庁舎	駒沢庁舎	墨田庁舎	八王子庁舎	合計
件数(件)	439	152	128	40	759
見学者数(名)	1,202	1,007	1,295	683	4,187

主な見学者

1) 西が丘庁舎

- ・韓国経営企画協会(20名)
- ・(スペイン)パレンシア州技術研究所視察ミッション(23名)
- ・中国中小企業経営研修ミッション(31名)
- ・品川区企業グループ連絡会(25名)
- ・板橋区議会 環境保全対策調査特別委員会(21名)
- ・東京商工会議所葛飾支部(20名)

2) 墨田庁舎

- ・織物卸商業組合(31名)
- ・墨田区民施設めぐり(25名)
- ・ファッション産業人材育成機構(20名)
- ・トップモードアーティスト学院(35名)
- ・東京ニット卸商業組合(45名)

3) 八王子庁舎

- ・八王子市商工会議所
- ・国際連合工業開発機関
- ・(株)京王百貨店
- ・東京家政学院大学

4) 駒沢庁舎

- ・玉川消防署(20名)
- ・富士管財(株)(7名)

8.5 展示会への出展

都内中小企業や都民に当研究所の成果をパネルやサンプル、デモ実験、模型の展示などを用いて、紹介・普及した。また、都内産業及び都民生活と研究所の業務がどのように関連しているかをわかりやすく説明し、啓蒙・周知に努めた。

No	展示会名	主催	開催日	場所
1	第4回三宅島島民ふれあい集会～ 考えよう！三宅島の今とこれから ～	第4回三宅島島民ふれあい集会実 行委員会	平成14年 4月21日(日)	港区芝浦小学校
2	巡回デザイン展	全国繊維工業技術協会	平成14年 7月30日(火) ～平成15年 2月24日(月)	静岡県浜松工業技術センター 他、全国試験研究機関を巡回 展示
3	2002日本クラフト展	日本クラフトデザイン協会	平成14年 9月4日(水) ～9日(月)	銀座松屋
4	テクノTOKYOフェア2002 in Shinjuku ～アイデアを形にする産業技術研 究所～	東京都立産業技術研究所	平成14年 9月24日(火) ～10月1日(火)	都政ギャラリー
5	2002中小企業ビジネスフェア in TOKYO	経済産業省、 関東経済産業局	平成14年 9月25日(水) ～27日(金)	東京ビッグサイト
6	第40回全国繊維技術交流プラザ	全国繊維工業技術協会、 東京都	平成14年 10月9日(水)、 10日(木)	東京都立産業技術研究所 八王子庁舎
7	ニューアース2002 地球環境技術展	(社)日本産業機械工業会 他	平成14年 10月16日(水) ～19日(土)	インテックス大阪
8	産学公マッチング交流会	多摩中小企業振興センター、 (財)中小企業振興公社	平成14年 10月17日(木)	パレスホテル立川
9	テクノフェア2002	福井県IT産業団体連合会	平成14年 10月24日(木)、 25日(金)	福井県産業会館

10	第6回いたばし産業見本市	いたばし産業見本市実行委員会	平成14年 10月24日(木) ~26日(土)	板橋区立東板橋体育館
11	三宅島を励ます絵画・写真展	三宅島を励ます絵画・写真展実行委員会	平成14年 10月28日(月) ~30日(水)	立川ルミネ
12	パナナ・グリーンゴールド・プロジェクト展	NPO 法人 BPP 国際協力の会	平成14年 10月31日(木) ~11月7日(木)	国連大学地球環境パートナーシッププラザ
13	八王子技術専門学校技能祭	東京都立八王子技術専門学校	平成14年 11月2日(土)	八王子技術専門学校
14	赤羽技術専門学校技能祭	東京都立赤羽技術専門学校	平成14年 11月3日(日)	赤羽技術専門学校
15	板橋技術専門学校技能祭	東京都立板橋技術専門学校	平成14年 11月3日(日)	板橋技術専門学校
16	第5回三宅島島民ふれあい集会 ~考えよう!三宅島の今とこれから~	第5回三宅島島民ふれあい集会実行委員会	平成14年 11月4日(日)	港区芝浦小学校
17	産業交流展 2002	産業交流展 2002 実行委員会	平成14年 11月12日(火)、 13日(水)	東京ビッグサイト
18	Embedded Technology 2002 組込み総合技術展	(社)日本システムハウス協会	平成14年 11月20日(水) ~22日(金)	パシフィコ横浜
19	町田市テクノフェア 2003	町田市テクノフェア実行委員会	平成15年 2月5日(水)、 6日(木)	ホテル ザ・エルシィ町田
20	第7回おおた工業フェア	大田区、 (財)大田区産業振興協会、 (社)大田区工業連合会	平成15年 2月13日(木) ~15日(土)	大田区産業プラザPiO
21	第2回たま工業交流展	たま工業交流展実行委員会	平成15年 2月14日(金)、 15日(土)	昭和の森・メッセ昭島

8.6 刊行物

所の前年度の事業をまとめた「年報」、「事業概要」、研究課題ごとにその全体像を紹介した「研究報告」、研究発表会の内容をまとめた「研究発表会要旨集」、特定の技術について解説した「技術ガイド」のほか、多種の刊行物を発行して事業の普及に努めた。

刊行物	登録年月	部数
東京都立産業技術研究所 事業案内(12頁版)	14年9月	10,000
東京都立産業技術研究所 事業案内(12頁・英語版)	14年11月	14,000
平成14年度 事業概要	14年4月	650
東京都立産業技術研究所 年報(平成13年度)	14年6月	900
第3回都立産業技術研究所「技術セミナー」要旨集	14年8月	400
第3回都立産業技術研究所「技術セミナー」及び展示会案内はがき	14年8月	3,000
第3回都立産業技術研究所「技術セミナー」及び展示会ポスター	14年8月	200
東京都立産業技術研究所 研究発表会プログラム	14年9月	1,200
東京都立産業技術研究所 研究発表会ポスター	14年9月	300
東京都立産業技術研究所 研究発表会要旨集(平成14年度)	14年9月	600
東京都立産業技術研究所 研究報告 第5号	14年10月	1,200
第18回 東京都異業種交流プラザ 合同交流会	14年2月	400
技術ガイド「エンドミル加工技術」	14年9月	200
技術ガイド「赤外線・紫外線の利用技術」	14年9月	200
技術ガイド「医療用具におけるエンドトキシレンの測定と不活化」	14年9月	200
繊維技術ハンドブック「縫製技術編」	15年3月	2,000
アパレルデザインインフォメーション(ADI) No.56	14年8月	2,000
アパレルデザインインフォメーション(ADI) No.57	14年12月	2,000
情報誌「和」No.8	15年1月	1,000

8.7 テクノ東京 2 1

産業労働局商工関係 6 試験研究機関では、技術情報誌「テクノ東京 2 1」を毎月 1 回発行しており、当所は原稿執筆及び編集企画で協力している。

平成 1 4 年度における当所の執筆は、次のとおりである。

発行年月	内 容		所 属	執筆者名
平成14年 4月	表紙写真 研究紹介	仕様項目別Webページ	ニット技術グループ	飯田 健一
	研究紹介	環境標準物質の中性子放射化分析	精密分析技術グループ	谷崎 良之
	研究紹介	微小赤外放射源の測定技術の確立	計測応用技術グループ	中島 敏晴
	研究紹介	Web利用によるセーター製造支援システムの開発	ニット技術グループ	飯田 健一
	設備紹介	コバルト照射施設	放射線応用技術グループ 安全管理課	櫻井 昇 牧野 敦
	設備紹介	低圧大電流等電力用試験機器	電気応用技術グループ	栗原 秀樹
	技術解説	中性子線を用いた水分計	放射線応用技術グループ	鈴木 隆司
平成14年 5月	事業紹介	平成 1 4 年度 事業紹介	企画普及課	企画調整係
	事業紹介	平成 1 4 年度 研修・講習会紹介	企画普及課	研修係
	事業紹介	平成 1 4 年度 研究テーマ紹介	企画普及課	企画調整係
	研究紹介	ウール/ナイロン混紡ニットの着色オパール加工	テキスタイル技術グループ	小林 研吾
	技術解説	スーパーハードナノコンポジットの性質とその用途	表面技術グループ	一色 洋二
	設備紹介	材料の熱膨張を精密に測ります 熱機械分析システム	材料技術グループ	大久保一宏
	裏表紙	テキスタイル用インクジェットプリンタ	Apparel 技術グループ	北原 浩
平成14年 6月		新所長あいさつ	所長	井上 滉
	研究紹介	好きな走行モードが選べる電動アシスト自転車	電子技術グループ	三上 和正
	技術解説	軽く、高精度、複雑形状の製品をつくる	表面技術グループ	佐藤 健二
	技術解説	だれでもできるブロックゲージの自主管理	精密加工技術グループ	中条 知和
	指導事例	超音波画像による骨観察装置の開発	情報システム技術グループ	高野 哲寿
	裏表紙	光触媒を用いたホルムアルデヒド分解処理装置の開発	資源環境技術グループ	東 邦彦
平成14年 7月	表紙写真 研究紹介	自動収尿器とレシーバ	電気応用技術グループ	岡野 宏
	特集号	特許権等の使用について	企画普及課	遠藤 洋平
	特許紹介	環境対応型の鋳造用すず合金	表面技術グループ	佐藤 健二
	特許紹介	おむつに替わる自動収尿器	電気応用技術グループ	岡野 宏
	特許紹介	ポリスチレンを利用したラドンの測定	精密分析技術グループ	斎藤 正明
	特許紹介	絹製品に鮮やかな転写プリント	ニット技術グループ	藤代 敏

発行年月	内 容		所 属	執筆者名
平成14年 7月	特許紹介	塩類濃度の高い排水中のほう素除去方法	資源環境技術グループ	東 邦彦
	特許紹介	草炭から吸水性材料を作る	材料技術グループ	山本 真
	特許紹介	クエン酸を用いた電気ニッケルめっき浴	表面技術グループ	土井 正
	紹介	研究室の機器を有料で開放します	技術評価室	
	裏表紙	2003年春夏色彩傾向について	PA°レル技術グループ	嶋 明
平成14年 8月	表紙写真 研究紹介	屋上緑化の実証実験	材料技術グループ	大久保一宏
	研究紹介	ダイヤモンドライクカーボン(DLC)膜の剥離欠陥とその改善法	表面技術グループ	森河 和雄
	研究紹介	感光性樹脂を用いたマイクロ部品製作	電子技術グループ	加沢エリト
	研究紹介	環境に優しい加工技術 セラミックス工具による無潤滑絞り加工	精密加工技術グループ	基 昭夫
	研究紹介	灰から花を咲かせましょう！多孔質材料の開発	材料技術グループ	大久保一宏 田中 実
	活用事例	3次元CAD/CAEシステムを利用してみませんか	製品科学技術グループ	小金井雅彦
	技術解説	広がる制振技術	計測応用技術グループ	高田 省一
	設備紹介	吸音材料の開発に役立つ 垂直入射吸音率測定装置	計測応用技術グループ	平間 麻子 神田 浩一
	裏表紙	2003年テキスタイル素材傾向	テキスタイル技術グループ	小林 洋子
平成14年 9月	表紙写真	テクノTOKYOフェア2002 in Shinjuku	八王子分室	藤田 茂
	研究紹介	3 CCDカラーカメラで部品表面のこまかいキズを探します	情報システム技術グループ	大畑 敏美
	技術解説	繊維製品のホルムアルデヒド対策	ニット技術グループ	藤代 敏
	技術解説	衣料品の外観検査	PA°レル技術グループ	黒田 良彦
	技術解説	木材の耐朽性を調べることができます	資源環境技術グループ	飯田 孝彦
	裏表紙	クレーム事例	墨田分室	山本真理子 関口 敏昭
平成14年 10月	表紙写真	テクノTOKYOフェア2002 in Shinjuku 結果	企画普及課	
	研究紹介	有害な有機ハロゲン化合物は放射線で分解	精密分析技術グループ	中川 清子
	技術解説	太陽光発電と風力発電の利用技術	電気応用技術グループ	御代川喬志
	技術解説	自動車用エンジン部品と表面処理	精密加工技術グループ	仁平 宣弘
	技術解説	CAE解析の実際	製品科学技術グループ	大久保富彦
	がんばっている 中小企業	自動車用エアクリナー再生への挑戦	精密分析技術グループ 放射線応用技術グループ	中村 優 伊瀬 洋昭
平成14年 11月	表紙写真	共同開発を行った成功事例		
	成果事例	組み込み技術者育成向けのマイコン教材を開発	情報システム技術グループ	森 久直
	成果事例	医用安全規格に適合する漏れ電流測定器の開発	電気応用技術グループ	岡野 宏
	新製品紹介	Sサイズ女性のために！目の錯覚を利用したSサイズ衣服の開発	PA°レル技術グループ	秋田 実

発行年月	内 容		所 属	執筆者名
平成14年 12月	研究紹介	電磁ノイズの防止に役立つ電磁界シミュレーション	電子技術グループ	寺井 幸雄
	研究紹介	ポリエステル繊維の表面を変える	テキスタイル技術グループ	榎本 一郎
	技術解説	窒素成分含有排水の処理対策	資源環境技術グループ	小坂 幸夫
	技術解説	絶縁用保護具類の種類と正しい使い方	技術評価室	滝田 和宣
	技術解説	コンピュータウイルスからパソコンを守ろう	情報システム技術グループ	北原 枢
	ファッション ンアイ	クラフトワーク	アパレル技術グループ	小高久丹子
平成15年 1月	研究紹介	塗装面に細菌を増殖させない！無機系抗菌剤の効果特性	資源環境技術グループ	茨田 正孝
	研究紹介	光センサーで摩耗試験の感度向上	八王子分室	川原井通義
	研究紹介	水中の炭酸イオンと排ガス中の炭酸ガスの分析	精密分析技術グループ	野々村 誠
	技術解説	バナナが地球を救う	テキスタイル技術グループ	樋口 明久
	設備紹介	電子スピン共鳴装置（ESR）で放射線の効果や新素材の品質を探る	放射線応用技術グループ	関口 正之
	設備紹介	開放試験用機器を製品の企画や開発にお役立てください	ネット技術グループ	中村 宏
	裏表紙	色にもいろいろありまして - 色の表現方法と数値化 -	製品科学技術グループ	伊東 洋一
平成15年 2月	研究紹介	安全で安価な電動台車の開発	電気応用技術グループ	山口 勇
	研究紹介	バリアフリーを目指したユニバーサルキーボードの開発	電子技術グループ	平塚 尚一
	研究紹介	草炭から高吸水性材料をつくる	材料技術グループ	山本 真
	設備紹介	小さな試料を高温にして観察する <高温型ビデオマイクロスコープシステム>	材料技術グループ	田中 実
	設備紹介	高効率プラズマイオン注入装置	表面技術グループ	三尾 淳
	設備紹介	小型歯車のかみあい誤差の測定 ～小型歯車噛み合い試験機～	製品科学技術グループ	前野 智和
	研究会紹介	研究会活動でネットワークを広げる	計測応用技術グループ	加藤 光吉
	裏表紙	レトロな感覚を新しいスタイルへ	アパレル技術グループ	平山 明浩
平成15年 3月	研究紹介	衣類のチクチク感を防ぎたい!!	墨田分室	堀江 暁
	研究紹介	自由な発想で服地を織る	テキスタイル技術グループ	宮本 香
	設備紹介	ユビキタス時代に対応した測定装置 ワイヤレス・ コミュニケーション・アナライザ	情報システム技術グループ	佐藤 正利
	技術解説	極細シース熱電対による新たな温度計測の展開	技術評価室	尾出 順
	裏表紙	繊維製品のクレーム事例	八王子分室	木村 千明

8.8 資料収集

試験、研究、指導事業の実施において技術資料の収集・活用は欠くことができないものである。このため、国内外の専門誌・図書・技術文献等を購入すると共に、国、地方自治体、業界団体、大学、企業ならびに東京都の主に研究機関を含む関係機関から寄贈を受けたものを所内各部門の利用に供している。

平成 15 年 3 月現在の蔵書数・学術雑誌等は次のとおりである。

	西が丘庁舎	駒沢庁舎	墨田庁舎	八王子庁舎
蔵書数 (冊)	48,720	14,541	3,112	4,004
内訳				
和書 (冊)	32,621	5,886	2,994	3,749
洋書 (冊)	16,099	8,665	118	255
受け入れ雑誌	922	150	142	138
内訳				
購入和雑誌 (種)	106	5	33	23
寄贈和雑誌 (種)	774	140	98	108
購入洋雑誌 (種)	42	5	11	7
欧文雑誌 (種)	42	16	12	7
和文雑誌 (種)	880	150	154	131

8.9 図書管理

収集した資料は分類、整理、製本、登録等の後、配架して利用に供している。

平成 14 年度に入庫処理した冊数は下記のとおりである。

区分	内外	西が丘庁舎 冊数 (冊)			駒沢庁舎 冊数 (冊)		
		購入	寄贈	計	購入	寄贈	計
図書	国内	452	15	467	21	0	21
	外国	71	3	74	10	0	10
雑誌	国内	1,257	3,171	4,428	60	505	565
	外国	434	0	434	132	0	132
合計		2,214	3,189	5,403	228	505	733

区分	内外	墨田庁舎 冊数 (冊)			八王子庁舎 冊数 (冊)		
		購入	寄贈	計	購入	寄贈	計
図書	国内	89	3	92	55	0	55
	外国	3	0	3	0	0	0
雑誌	国内	337	306	643	225	278	503
	外国	148	0	148	50	0	50
合計		577	309	886	330	278	608

8.10 インタ - ネット・ホ - ムペ - ジ

所の事業・成果を広く普及するために、平成 9 年度からホ - ムペ - ジを開設した。毎年改善を図って、内容を充実し、効果的な広報と使い易さを向上させる等の努力をしている。

今年度は当所の利用者が必要書類を Web 上で取りだせるような試みも行った。

アクセス件数は、開設当初は年間で 5 千件未満だったが、14 年度末の累積では 18 万件を超え、年間アクセス件数は 8 万 6 千件（前年比 166%）となっている。

公開している内容は下記のとおりである。

- 1 最新情報・催事情報
- 2 事業概要
 - 2・1 試験事業
利用手続き、依頼試験手数料、技術評価室の案内
 - 2・2 研究事業
テ - マ・発表会要旨・報告書・所外発表
研究テ - マ（技術開発研究、経常研究等）一覧
研究発表会・報告書要旨、所外発表要旨
実用化・共同開発事例集（刊行物）、研究報告・年報（刊行物）
 - 2・3 相談・指導・普及事業
相談・指導一般、受託事業（研究・試験・指導等）、普及事業等の業務の紹介
研修・講習の年間予定、分野別技術支援事業、共同開発研究募集案内
施設公開、産学公連携、技術ガイド（刊行物）
 - 2・4 異業種交流事業
- 3 公開特許情報
- 4 主要設備一覧
- 5 各課・室・技術グル - プの紹介
- 6 その他の情報
「関東甲信越静バーチャル公設試」、他のサーバへのリンク
三宅島火山灰利用技術、外部評価結果の発表等
- 7 交通案内

英文ホ - ムペ - ジ

- 1 研究所の概要
- 2 組織
試験、研究、指導
- 3 交通案内
産業技術研究所のホ - ムペ - ジアドレス（URL）と E-mail アドレスは以下のとおりである。

URL <http://www.iri.metro.tokyo.jp/>

E-mail system@iri.metro.tokyo.jp

8.11 マスコミ報道

1) テレビ報道・ラジオ報道

放映日時	テレビ・ラジオ局・番組名	内 容
H14. 4. 19	東京MXテレビ「MXニュース」	屋上緑化実証試験
4. 19	NHK「首都圏ネットワーク」	屋上緑化実証試験
5. 2	シティーホールテレビ「モーニング東京」	屋上緑化実証試験
5. 28	テレビ東京「テクノ探偵団」	ガラスの基礎知識
7. 31	東京FM「コスモ・アースコンシャスアクト」	人工土壌、屋上緑化促進
8. 15	日本テレビ「ズームインスーパー」	火山灰を利用した多孔質材料
8. 30	東京FM「モーニングフリーウェイ」	環境問題に関する研究
9. 2	NHK「おはよう日本」	屋上緑化実証試験
9. 9	東京MXテレビ「東京リトルガリバー」	アルミニウム加工技術
9. 22	日本テレビ「特命リサーチ2000X」	落雷実験
10. 15	東京MXテレビ「東京インフォーカス」	都のものづくり振興のあり方
11. 21	NHK「首都圏チャンネル」	火山灰プリント技術研修
12. 16	スカイパーフェクトTV「ショップチャンネル」	難燃加工材の販売
H15. 1. 20	テレビ東京「ニュースモーニングサテライト」	アフィニティー(株)の開発品に対する技術支援
1. 26	日本テレビ「所さんの目がテン！」	「赤外線とは何か」を説明するための実験・測定
1. 27	東京放送「ニュースの森」	帯の染色鑑別について
2. 11	テレビ朝日「東京サイト」	三宅島火山灰を利用した技術
2. 17	東京MXテレビ「東京リトルガリバー」	産学公コーディネートの事例
2. 24	日本テレビ「特命リサーチ2000X」	衣料への錯視表現技法応用
3. 24	テレビ朝日「スーパーJチャンネル」	ガラス食器に潜む危険

2) 新聞・雑誌報道

掲載日	新聞・雑誌名	内 容
H14. 4. 2	日刊工業新聞	産学官連携 騒音吸収剤に結実
4. 5	日刊工業新聞	フィンを吸引、下地処理 有信 配管更正工法実用化へ
4. 8	日本工業新聞	日立に花開く官民交流 東京都立産業技術研究所長
4. 16	日刊工業新聞	産学官連携 有信 UPL工法 都立大、産技研と開発
4. 19	日本経済新聞	外部に伝える意識を
5. 7	都政新報	都・企業の連携で地域活性化に努力
5. 11	日本経済新聞	三宅島火山灰活用へ 屋上緑化の土壌や繊維染色剤
5. 17	都政新報	産技研初の民間企業出身所長
5. 24	日刊工業新聞	4けたの精度で純度測定 都産業技術研が白金族分析法
5. 28	化学工業日報	「資源環境技術研究会」が始動 都立産技研で中堅・VB結集
6. 17	日刊工業新聞	アクティブに中小支援 CD根幹に業務改革
6. 19	環境新聞	環境技術で研究会設立 都内企業中心に43社
6. 28	Memo	復興への大きな足がかり三宅島の火山灰がインテリア素材に!
7. 1	日刊工業新聞	産公連携で電動台車 安価・安全・信頼で輸入物に対抗
7. 1	日経産業新聞	簡単に骨見極め 接骨院向け観察装置 都立産業技術研が開発
7. 3	日刊工業新聞	都産技研 電気・電子部材向け無鉛化低融点ガラス粉体開発
7. 17	塗料報知新聞	「工業塗装と環境塗装」講演 化学物質管理の重要性
7. 20	読売新聞	「三宅ガラス」製品売上金の一部寄贈 ダイエー
7. 23	日刊工業新聞	カレイドスコープとCG技術融合 簡単に独創的デザイン
8. 9	日刊工業新聞	都立産技研 鉛フリー高比重ゴム使用 放射線遮へい材開発
8. 14	毎日新聞	灰から花を咲かせたい 三宅島の火山灰で人口土壌
8. 17	読売新聞	構造上の課題克服へ 保水性高く軽い土作り
8. 22	日本経済新聞	汚泥・火山灰で人口土壌 屋上緑化用都が開発、価格1/5

掲載日	新聞・雑誌名	内容
8. 23	繊維・ジャアナル	簡単に独創的デザイン製作 都立産技研がシステム
8. 28	東京七島新聞	火山灰を人口土壌に 都立産業技術研多孔質材を開発
9. 7	全国紙業新聞	技術セミナーと共同開発展示会 産技研の成果紹介
9. 17	都政新報	テクノTOKYOフェア2002 in Shinjuku
9. 18	朝日新聞	三宅の火山灰緑化に生かせ 多孔質・粒化し土壌に混入
9. 23	読売新聞	火山灰でプリント 島の特産品に 収入源の1つに
9. 24	都政新報	民間から都産技研へ 就任から半年経って
9. 25	日本工業新聞	都産技研が「技術セミナー」
9. 25	日刊工業新聞	都政ギャラリーで初のテクノフェア 研究成果など多数展示
10. 1	読売新聞	ニット
10. 9	日本工業新聞	都産技研 金属工業排水中の窒素成分 紫外線使い除去
10. 10	日経産業新聞	浮遊粒子状物質をイオンビーム分析
10. 13	サンデー毎日	三宅ガラスと火山灰プリント製品の写真多数
10. 20	北区ニュース	東京都産業技術研究所「研究発表会」
10. 31	日刊工業新聞	バナナの茎で紙、糸、織物 再利用技術を開発
10. 31	Pandora	試験検査の現場 絹織物伝統の町に染色堅牢度試験を学ぶ
11. 9	産経新聞	仏産きのこから基準超える放射能
11. 13	日本経済新聞	4都県の5公設試ネットで技術情報共有化
11. 18	日本工業新聞	潤滑油使わず絞り 都立産技研 金属プレス新加工法
11. 18	日本工業新聞	都などが「産業交流展2002」"逆見本市"新たな試みも
11. 19	日刊工業新聞	最新鋭の試験研究機器 都立産技研、43機種開放
11. 20	朝日新聞	避難生活癒す火山灰染め 研修三宅島民、帰島後の特産に
11. 20	日本刃物工具新聞	東刃工分科会開き大成果 都立産技研で新技術研修も
11. 25	日本合成繊維新聞	繊維ごみのリサイクル 各種製品の充填材で特許取得
12. 1	Science & Technology	東京都立産業技術研究所 都民に喜ばれるが運営の原点
12. 2	日刊工業新聞	廃棄物から結晶化ガラス高強度耐酸性建材メーカーに普及へ
12. 3	とちょうi	火山灰プリント技術で特産品を
12. 4	日経産業新聞	都立産技研元の物質を再生 放射線利用物質を分解
12. 9	日経アーキテクチャ	火山灰をゼオライト化
H15. 1. 7	日経産業新聞	カラシ由来の成分 木綿に防かび加工
1. 16	日本工業新聞	化学繊維の表面改質法 化学廃液処理が不要
1. 20	日刊工業新聞	行政の中小支援柔軟な予算配分に期待 自治体間の“壁”突破へ
1. 27	日本工業新聞	都産技研 専門技術情報でDB 神奈川県などの工試と共同で
2. 5	日経産業新聞	抗菌塗料最適な配合解明 都産技研、塗装業者を支援
2. 5	読売新聞	日本発プロジェクト本格化 茎や葉捨てずに活用
2. 14	都政新報	任期付研究員 第一号は産技研で
2. 14	日本工業新聞	ナノテク、ITなどで外部から研究員を募集
3. 1	日本経済新聞	病院や研究所 専門の人材確保
3. 24	日経産業新聞	異業種交流で製品開発 知恵絞り結束強化